

006 健康経営 取り組み事例

企業
プロフィール



SOMPOヘルスサポート株式会社

業種 33 サービス業

従業員数 301名(2023年度末)

01 目的

SOMPOグループのパーパス「安心・安全・健康」であふれる未来への実現に向け、当社は当社の経営理念である「より多くの『こころと身体』の健康の実現に貢献」を実現するという社会的使命がある。使命を果たすためには、社員一人ひとりが健康であることはもちろん、健康に関するプロフェッショナル集団であることが不可欠である。さらに、リーディングカンパニーであり続けるためには、仕事にやりがいを持ち、風通しが良く、活力に満ちた企業風土が極めて重要である。

02 課題・目標

健康経営で解決したい経営上の課題

課題 ③ 中長期的な企業価値向上

健康経営で解決したい経営上の課題	当社の経営理念である「より多くの『こころと身体』の健康の実現に貢献」を実現するために、社員一人ひとりが自身の健康保持・増進に主体的に取り組み、高い倫理観と高い職業意識を持ち、パフォーマンスを最大に発揮することで、企業価値を高めていくことが経営課題である。
健康経営の実施により期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> ●エンゲージメントの向上(目標3.54) ※ギャラップ社の従業員エンゲージメント調査により測定 ●プレゼンティーズムの改善(目標95%) ※WLOQにより測定 ●アブゼンティーズムの改善(目標1.5日) ※傷病による欠勤・休職の平均日数

自社従業員(組織)の課題と目標

重点課題1 ⑫生活習慣病等の疾病リスクを持つ従業員への重症化予防の課題

課題内容 疾病発症リスク・生活習慣病リスクの顕在化

健康診断再検査受診率の向上

数値	単位	年度
取組前実績値	53.5	% 2021年度
現在の実績値	59.0	% 2023年度
目標値	100	% 2025年度

重点課題2 ⑨生活習慣改善(運動・睡眠・食生活等)に関する従業員の課題

課題内容 定期的なリスク度チェックや予防意識の醸成

2024年度からの新たな重点施策のためKPIは今後決定

数値	単位	年度
取組前実績値	31.9	% 2022年度
現在の実績値	33.8	% 2023年度
目標値	35.0	% 2025年度

04 健康経営の成果

経営上の課題に対する健康経営の成果

経営上の課題は、「事業の成長」「人材の確保・成長」「価値の提供」の3点。健康経営の成果は、社員の健康増進(※)による人材の確保である。 ※二次検査受診率 2021年度53.3%→2023年度59.0%
適正体重維持者率 2021年度75.6%→2023年度76.5%、運動習慣者比率 2021年度29.1%→2023年度33.8%

03 施策・実績

健康経営の取り組み

施策内容(重点課題1)

従業員の健康リテラシー向上を目的とした情報提供、当社基準での保健指導の実施

具体的な実践内容1

分類	自社組織
名称	社内保健指導
内容	当社独自の保健指導基準を設け、保健師および産業医による面談を実施
導入時期	2021年度
評価(定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> ●保健指導実施率:100% ●2022年度よりリスク保有者へのアプローチを開始し、保有リスクを分類し、産業医および保健師の面談を実施した。今後はいかに本人の行動変容(定性)および健診結果(定量)の改善に繋げていくかが課題である。

具体的な実践内容2

分類	自社サービス
名称	LLax forest
内容	健康情報提供サービス(動画配信)
導入時期	2022年度
評価(定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> ●幅広いテーマでのヘルスリテラシーの向上。 ●各施策に合わせ、四半期に1回、テーマを分けて配信している。従業員の健康リテラシー向上および生活習慣改善に繋がることを期待している。

具体的な実践内容3

分類	自社サービス
名称	Growbase/i-Wellness
内容	健康データ一括管理システム
導入時期	2021年度/2023年度
評価(定量・定性)	<ul style="list-style-type: none"> ●健診予約のデジタル化・効率化および健診データの一元管理が実現したことにより、従来より早く健診結果を把握できるようになった。 ●出向者データの追加により個人の健康データ管理・活用が拡充した。 ●社内活用の強化により再検査の受診率向上などの効果を見込んでいる。

施策内容(重点課題2)

プレゼンティーズムに大きな影響を与える「筋骨格系の痛み」への対策

具体的な実践内容3

分類	外部サービス
名称	オフィストレッチ®
提供元社名	Well Body株式会社
内容	理学療法士によるオフィス内でのストレッチ施術
導入時期	2024年度
選択理由	●効果 ●使いやすさ ●サービス・製品の可能性
評価(定量・定性)	●2024年度はトライアル実施であった。施術を受けた社員の高評価を得たため、継続実施と合わせ、定量・定性面の効果は今後検証予定である。

データ活用事例

事例名	問診・レセプトデータを活用した健康課題の可視化
内容	従来の健診・問診結果にレセプトデータを追加し分析を実施。結果の考察には当社コンサルタントのサポートを得、健康課題を可視化。多角的な視点から分析することで潜在的な課題を把握し、より具体的な健康経営施策に繋げPDCAサイクルを定着していく。
利用データ	レセプトデータ、健康診断、問診
利用者(ユースケース類型)	SHの健康経営推進グループ(人事部内)、産業医、産業保健スタッフ、健康経営推進委員

取り組みにおける課題や困っていること

実施している施策の課題	—
今後取り組みたい施策の課題	—